

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名:WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	177名(連結)
連結子会社	和井田友嘉精機股份有限公司(台湾) WAIDA Europe GmbH(ドイツ)

役員 (2023年6月27日現在)

代表取締役会長	和井田 光 生
代表取締役社長	森 下 博
代表取締役副会長	久 保 朝 義
取締役	松 村 忠 典
取締役	比 良 謙 吾
取締役	疋 田 寿 久
取締役(監査等委員)	田 村 孝 至
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏および山下英一氏の両名は、社外取締役であります。両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況 (2023年3月31日現在)

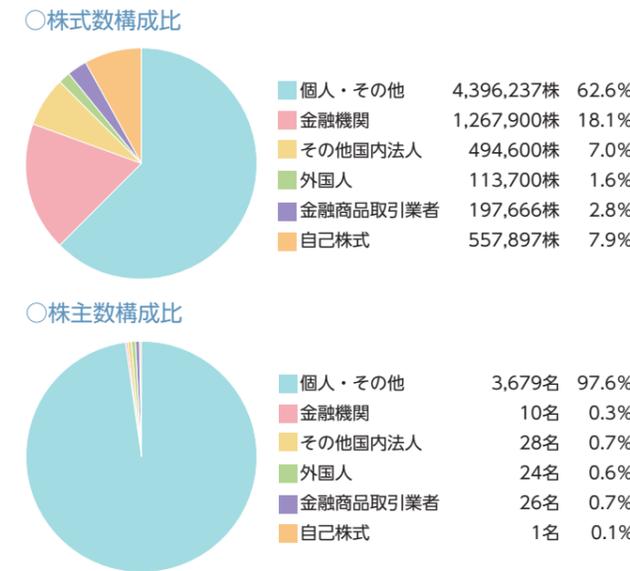
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式557,897株を含む)
株主数	3,768名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 光生	438,440	6.78
和井田 叔生	326,060	5.04
株式会社十六銀行	321,300	4.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	272,500	4.21
株式会社三菱UFJ銀行	256,000	3.96
和井田 叔子	216,000	3.34
和井田製作所従業員持株会	169,716	2.62
和井田 克子	121,200	1.87
和井田 雅生	120,800	1.87
岐阜信用金庫	110,000	1.70

(注) 持株比率については、自己株式(557,897株)を控除して算出しております。

株式分布状況 (2023年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告 アドレス: https://www.waida.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



桜と残雪の笠ヶ岳(岐阜県高山市奥飛騨温泉郷)

業績ダイジェスト(連結)

第94期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の当社グループは、引き続き回復基調にある世界経済を背景に、前期比および期初計画比で増収増益となりました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
第94期実績	7,581百万円 前期比 16.9%増	1,155百万円 前期比 17.8%増	1,210百万円 前期比 16.1%増	868百万円 前期比 25.1%増
第95期 通期業績予想	7,681百万円 前期比 1.3%増	972百万円 前期比 15.9%減	979百万円 前期比 19.1%減	686百万円 前期比 20.9%減

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
第94期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の当社グループは、コロナ禍を乗り越え回復を続ける国内外の市場環境を追い風に、多くの受注をいただき業績は計画を上回る結果となりました。

第95期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）に向けては、中長期的な事業拡大に向けた設備投資を継続するとともに、欧米への市場展開と新機種の拡販を着実に進め受注の確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 森下 博



第94期の概況

第94期の当社グループは、回復を続ける国内外の市場環境を背景に、受注および売上を伸ばし、期初計画比および前期比で増収増益となりました。

市場別では、金型関連研削盤が中国市場においてゼロコロナ政策転換後も需要が回復せず下押し要因となりましたが、切削工具関連研削盤が国内外で好調であったこと、また、その他の製品（半導体関連研削盤）でまとまった受注があったことが、売上増に寄与しました。

以上の結果、売上高は7,581百万円（前期比16.9%増）、営業利益は1,155百万円（営業利益率15.2%、前期比17.8%増）となりました。

第95期の見通し

第95期については、欧米での営業強化による販売増に加え、サプライチェーン再編の動きを受けアジア地域（中国を除く）での販売増を見込んでおり、中国市場において当面受注回復が見通せない状況ではあるものの、全体として売上高は前期をやや上回る水準を見通しております。

以上をふまえ、第95期の通期業績見通しは、売上高7,681百万円（前期比1.3%増）、営業利益972百万円（営業利益率12.7%、前期比15.9%減）になるものと見通しております。配当金は、第95期中間配当金を1株につき20円、第95期期末配当金を1株につき20円とし、年間では1株につき40円を予定しております。

中長期課題への取組みについて

【海外市場展開】

昨年ドイツに子会社を設立し活動を開始しており、第95期の欧米等の売上拡大を計画しております。

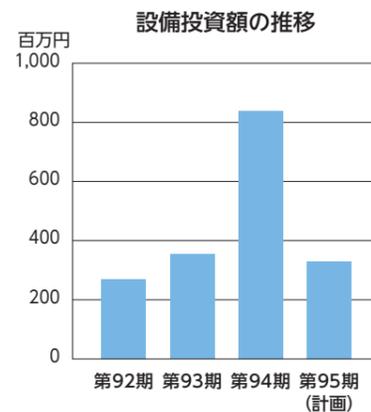
【新製品、新分野製品の開発】

既に市場投入した切削工具関連研削盤のハイエンド機APX-F50は、多くの受注をいただいたことから第95期の切削工具関連の売上拡大に寄与しております。

【経営基盤強化】

中長期的な成長に向けた生産余力の拡大のため、生産設備の自動化、高度化に向けた設備更新を第94期に続き第95期も計画しております。生産体制の見直しや改善活動と合わせ、人的生産性のさらなる向上をめざします。

ドイツ子会社の運営費用や研究開発投資、減価償却費などこれら施策にともなう費用増加により第95期の営業利益率は12.7%となりますが、中長期的には欧米でのシェア拡大や新機種による需要喚起により売上を拡大し費用を吸収してまいります。



トピックス

台湾での展示会「TIMTOS 2023」に出展いたしました

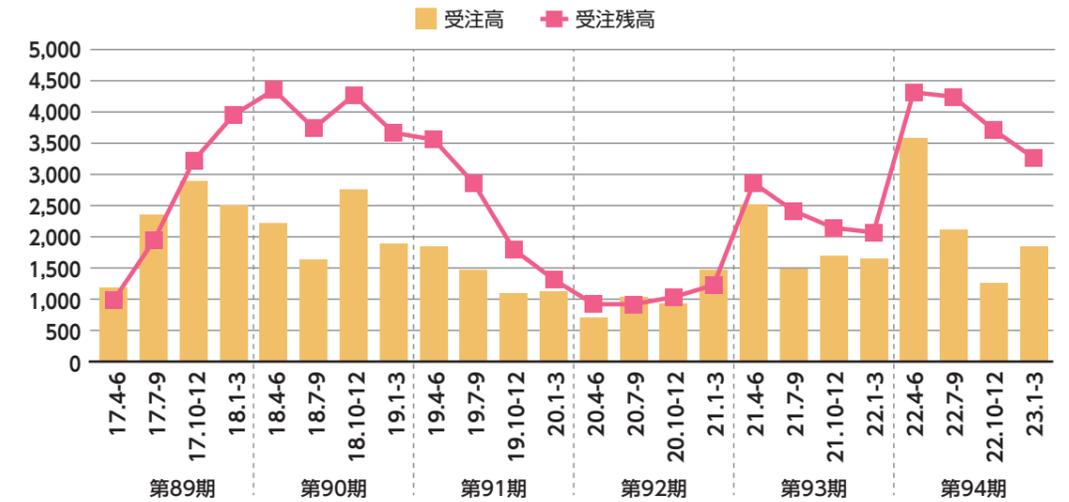
2023年3月6日～11日に台湾の台北市で開催された「TIMTOS 2023（台北国際工作機械見本市）」に、台湾の連結子会社である和井田友嘉精機股份有限公司との協業のもと出展いたしました。

展示会では新製品である溝入れインサート研削盤DCG-G1を出展し、ご来場のお客様に高い関心を持っていただくとともに、アジア市場での拡販に向けた手ごたえを得ることができました。



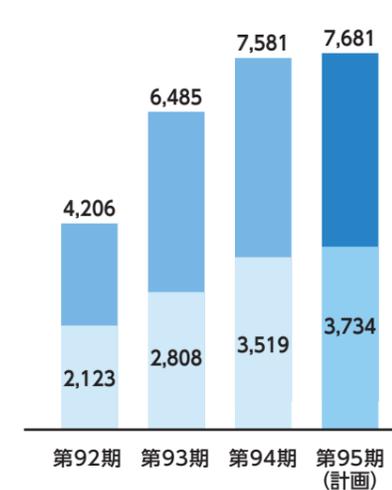
当社出展の様子

受注高・受注残高の推移 (単位:百万円)



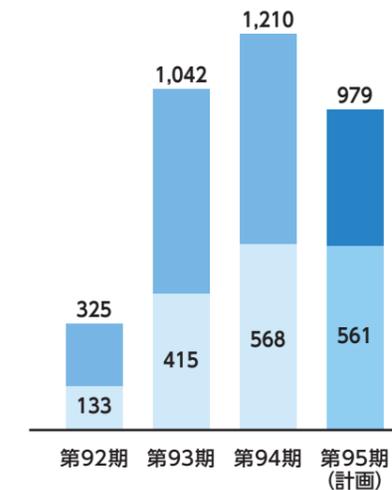
売上高 (単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



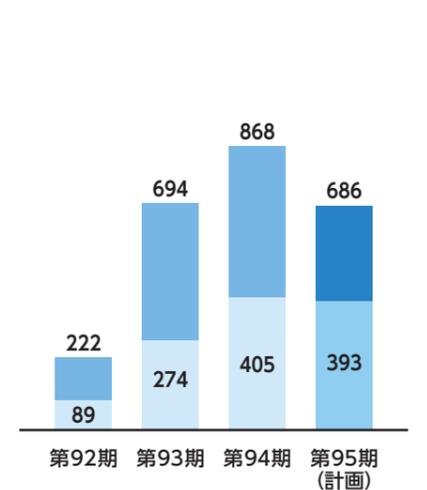
経常利益 (単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



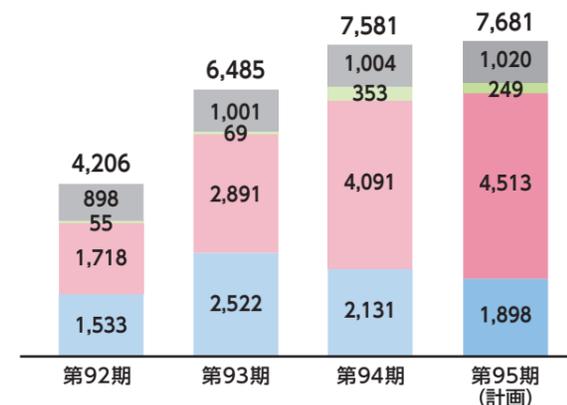
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



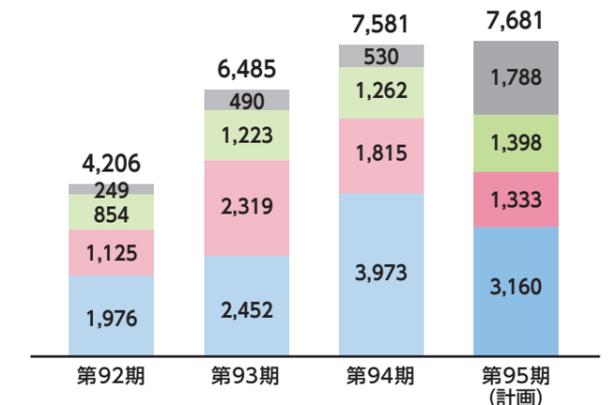
品目別売上高 (単位:百万円)

■ 金型関連研削盤 ■ その他の機械
■ 切削工具関連研削盤 ■ アフターサービス



地域別売上高 (最終据付地にて集計) (単位:百万円)

■ 国内 ■ 中国
■ アジア地域 (中国を除く) ■ 欧米等



※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。